

# 議会の責任と議員の役割



仙北市議会議員  
佐藤 峯夫

- 一、議会の動きが見えない
- 一、報酬の引き下げ定数の削減
- 一、議会不要論の胎動

以上の一般市民の声を私は断固拒否する。

「議会とは、そもそも皆様の税金の使い道をチェックするため、イギリスで生まれた仕組みであり、執行部のチェック機関としての責務が第一である。市長も議員も選挙で選ばれた二元代表制であり、対等の立場である」

これが、私の議会に関する答えである。

ゆえに、去る12月議会では、速やかに幕を閉じようとする二議案に対し、「原因究明と再発防止策が不十分」として、採決せず、継続審査することに決定した。

このことは、チェック機能を充分発揮した一例でもあり、議会が、決して市長の「下請機関」ではないことを、市民に示したものである。

永年にわたり「議会改革推進協議会―佐藤直樹座長」が、一生懸命心血を注いだ議会基本条例によって、私は決断と勇気を与えられ、それに基づく議会運営がなされていることを、強く、市民の皆様にご訴えすると共に、議会に対する再考と再認識を願うものである。

(一月二日記)

## 第7回 仙北市議会12月定例会

平成25年  
12月2日～24日

平成24年度一般会計決算 歳出額185億126万円4千円を認定  
平成25年度一般会計補正予算 1億3698万3千円の補正額を可決

### 12月議会開会 20日に会期延長

第7回定例会は当初12月2日～20日までであったが、議案の再提出があり4日間延長され24日に閉会した。

提出議案は先決処分関係1件、条例関係4件、予算関係14件、指定管理者関係1件、人事関係2件、議員提出議案関係6件の計28件である。

★本会議 6日間  
会期の主な日程は次の通り

議案上程1日、一般質問2日、議案質疑1日、討論採決2日(但し1日は追加議案のみ)

★常任委員会 2日間。

★予算委員会 分科会含めて4日間。

一 一般会計以外の特別会計補正予算10件中的なもの

●下水道事業特別会計補正予算 247万5千円  
電気代の値上げによる。

●国民健康保険特別会計補正予算 ▲936万円  
田沢・神代両診療所決算確定の為。

●仙北市病院事業会計特別補正予算 300万円  
災害派遣チームの為の費用。震度6弱以上の地震の際

国・県の要請あり。

# 決算常任委員会報告

## 24年度一般会計決算 賛成多数で認定

歳入総額

189億127万3千円

歳出総額

185億126万4千円

差引残額 4億8千円

9月定例会において継続審査となった「議案第105号、平成24年度仙北市一般会計歳入歳出決算認定について」の審査の経過と結果について議会8月28日、9月4日、及び10月21日の3日間にわたり田沢湖庁舎で開催された。

また、閉会中も10月15日、16日と二日間にわたり3分科会が審査を行い委員会最終日の10月21日に賛成多数で可決した。

主な質疑は次のとおり。  
各分科会からの報告は次のとおり。

### 総務文教分科会

一 電源立地地域対策交付金の政策への充当先は慣例化している。見直しを図るべきである。

二 地域運営体事業のすみ分けの内容が不十分であり、本当に地域に必要な事業を

推進すべきである。昨今の決算審査時の指摘に対する改善が図られていない。  
三 高校入学準備金の滞納処理に当たっては、厳しい姿勢で臨むべきである。

### 市民福祉分科会

一 防災行政無線での時報については地区別に対応する等の柔軟性に配慮すること。

二 母子保健対策での乳幼児健診は3歳児までであるが、小学校就学前5歳児までの健診を実施すべきである。

### 産業建設分科会

一 道路改良の執行に当たり多額の不用額につながるような業務を遂行すること。

二 設計積算の業務に精通した人材の確保・育成に努めること。

三 決算審査に臨む参与の準備不足は否めない。説明が難しい点は資料を準備する等の心構えが必要である。予算執行にあたり担当の責任感が欠如している場面も

あった。  
当局には仕事に対する信念と自信を持ち、説明や答弁に当たりたい。  
討論では次に要約される反討論があった。  
不認定の理由の要旨として

一 木質バイオマス事業は本来の目標に達していないこと。  
二 地域運営体事業の課題は先送りとされ、すみ分けの内容が不十分である。その役割が市民のために十分に果たされていないこと

農地集積協力金全額国県負担100%  
●木質バイオマス施設管理費 1638万円  
臨時職員賃金・電気代・燃料代の値上げ分。

## 予算常任委員会報告

予算常任委員会は分科会を含め4日間開かれた。  
主な予算は次の通り

●本庁舎維持管理費 232万円

電気料金と燃料費の値上げによる3月までの補正。

●老人福祉施設措置費 567万円

入所被措置者の増加の為

●医療給付費 481万円

3月までの医療費増額見込み分

●こども・子育て推進事業費 1128万円

27年度から始まる新しい子

●誘致企業対策事業費 620万円

誘致企業(株)食品工業に対する補助金、建物移転費と立ち木伐採費

●平福美術館常設・企画展示費 115万円

藤あや子所有絵画・陶器を展示する為の運搬費等。

●豪雨対応時間外手当 670万円

先達の豪雨災害時の時間外手当約136人分。

●認可保育園管理費 241万円

15%電気料金値上げを見込む

●簡易水道事業特別会計繰出金 208万円

9月から電気料金値上げに対する補正。

●戸別所得補償経営安定推進事業費 500万円

●農業用施設災害復旧費 1270万円

水路2ヶ所と頭首工1ヶ所の整備  
浦志内等いずれも西木町

●林業施設災害復旧費 9228万円

西木2路線、田沢湖7路線

●公共土木施設災害復旧費 3565万円

下高野線、町田線、小先達2号線、耳除中山線4ヶ所全て生保内地域



分科会の主な質疑は次の通り

### 総務文教分科会

#### 藤あや子展開催経緯について

本人が美術館を鑑賞した際の「私も仙北市に元気を与えられたら」という思いを汲み企画された。美術館の運営協議会は、秋田市のエリアなかいちがある美術館でも大衆的、サブカルチャー的作品を展示している例に倣い、内外にアピールできる集客の側面と地元出身者であることも考慮し開催することにした。

### 市民福祉分科会

#### 義援金の配分について

10月の臨時議会での970万円に続く81万4千円の追加配分である。

#### 寿楽荘の移転改築について

進捗率は12月10日現在78%年内に完成予定、2月中旬に引越し予定である。

### 産業建設分科会

#### 木質バイオマス施設管理運営費について

大きく不足したのは9月1

日からの電気料金値上げの為。

#### 企業誘致対策について

用地取得が遅れていることから(株)司食品工業の工場建設は来年7月か8月頃と想定される。

#### 雪寒地域建設機械整備費について

整備費は1900万円の減額であったが、除雪体制について質疑した。

除雪体制については昨年までは田沢湖4名、西木地区1名の直営体制であったが今シーズンから全て業者委託となった。緊急時や事故等のために、建設課と地域センターとが連携して対応する体制を執っている。委託単価は1千万円アップだが、オペレーターの確保が課題となっている。

#### 先達地区の災害復旧について

応急工事は終了している。現在は国交省の砂防堰堤に全力を注いでいる。

### 反対討論

企業誘致対策事業費の物件移転補償費620万円のうち、木造建物1棟の移転補償費470万円の評価が妥当な

ものかどうか、現時点で住民へ説明責任を果たすことが出来ないの、反対である。

#### 委員会採決 (12月18日)

賛成多数で可と決定した

#### 本会議採決 (12月20日)

賛成多数で可決された。

(八柳良太郎記)

## 表紙の説明

去る1月6日仙北市消防出初式が挙行された、著しく高齢化の進む地域社会だが、この日は若くは若い熱気が現場周辺にみなぎった。写真は武家屋敷から健康管理センター(中菅沢)までの分列行進のコマ。

(阿部則比古記)



## 平成25年 第7回 仙北市議会定例会賛否が分かれた議案 (招集日: 12/2 最終日: 12/24)

凡例: 賛→賛成、反→反対 欠→欠席 退→退席 (議長は、法律に定める特定のケース以外では表決をしないことになっています)

議案番号	会派及び氏名等 件名	議決月日	議決結果	民 政 会 議				仁政クラブ				む 翠 会			侍 志 の 会			会派に属しない議員					
				伊藤邦彦	阿部則比古	安藤武	狐崎捷瑠	門脇民夫	佐藤直樹	黒沢龍己	田口寿宜	高橋豪	稲田修	小林幸悦	藤原助一	田口喜義	荒木田俊一	小田嶋忠	八柳良太郎	青柳宗五郎	平岡裕子	熊谷一夫	高久昭二
議案第105号	平成24年度仙北市一般会計歳入歳出決算認定について	12.2	原案決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	反	賛	反		
議案第131号	平成25年度仙北市一般会計補正予算(第11号)	12.20	原案決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	退	賛	反	反	反	賛	賛	反		
議員提出議案第17号	市立保育園・幼稚園のあり方に関する決議について	12.20	原案決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	退	賛	賛	賛	賛	賛		